



1. はじめに

この度、一橋予備校では、毎月のイベントや学習方法等を「一橋通信」として発信していくことになりました！毎月、専任講師が「勉強方法」等の紹介もしていきますので、一橋通信が皆さんのお役に立てるように頑張ります！

2. 新設！中学受験コース～受付スタート！

6月より、当校では、新たに群馬県の中高一貫校の入試に合格するための「中学入試～マンツーマン指導コース」を新設しました。学校の成績アップ＋英語力をアップを図りながら、志望校の入試傾向に応じた指導を生徒さんの学習状況に合わせて指導していきます。もし、中学受験を考えている生徒さんが周りにいましたら、是非一橋を紹介していただけたらと思います！

3. 現役生～期末考査の準備へ！

中間考査の結果はどうでしたか？結果が戻ってきたら、担当講師へ報告しましょう。月末には、すぐ期末考査がやってきます。勉強は、コツコツと毎日の積み重ねが大切です。特に期末は実技の科目が増えるので、必然的に勉強量が増えます。部活動をしている生徒は、“隙間時間”を見つけて勉強していけば、それが積み重なるとかなりの勉強時間になりますよ。

4. 英検生コース～6月5日は英検一次試験！

今回は、当校でも英検を受ける生徒さんが多いため、専任講師が近年の英検取得事情・難易度・勉強方法等について紹介します。

「☆英検準1級☆ ～難易度・勉強方法～」

第1回の英検に向けて、当校でも多くの生徒が日々勉強に励んでいます。今回は難関大学を目指す生徒の目標である英検の準1級についてお伝えします。最初は難易度です。準1級は英検では上から2番目に難しいテストで、大学

レベルの英語力が要求されます。英検の準1級を取得するメリットは非常に大きく、例えば、明治大学の経営学部では準1級（スコア2,467点以上）取得者に英語で20点を加点するという方式を取っています。

次に勉強方法ですが、今回は多くの生徒が苦戦する語彙についてお話しします。既に述べたように語威力アップは必須ですが、闇雲に覚えても試験では通用しません。単語を勉強する際は常にフレーズや文を意識しましょう。例としてvulnerableという単語で考えます。この一単語だけを覚えるよりもvulnerable to the virus/blackmail/criticism(ウイルスに～、脅しに～、批判に～)というフレーズの方がはるかにvulnerableが意味する「何かに対して『弱い』」という単語のイメージが掴みやすく、覚えやすいはずですよ。

ここで述べたことは英語の勉強の基本ですが、レベルの高いことに挑戦しようとする時ほど、まず基本を見直すことが肝心だと思います。是非参考にしてください。また、一橋総合予備校ではマンツーマン授業の利点を生かして、単語の覚え方についても丁寧に指導することができます。今回はお伝えできなかった語彙力アップの秘訣がまだありますから、興味のある方は是非授業でお尋ねください！

「☆中学生☆ ～お勧めの英語勉強法～」

(英検3級取得のための学習が今後の英語力アップのカギとなる)

近年、中学校・高校・大学入試に向けて小中学生の早い段階で英検等の資格を取得する傾向が見られ、受験制度の度重なる改定によって今後ますますこの傾向が高くなると予想されます。

例えば、英検3級が中学卒業レベルの基準とされていますが、推薦入試等では準2級・2級を要求する高校も多くなってきております。

英検は「聞く」、「読む」、「書く」、「話す」の4技能の総合得点で合格が決定される資格ですが、それぞれの技能での得点率が多少バランス悪くても合格は可能です。その分、級が上がるにつれて得点率の悪い技能を補うことが段々難しくなっていきます。

英検3級の試験に向けての学習は、「書く」、「話す」の2技能が追加されますので、4技能を基本からバランス良く学べる絶好の機会です。この時点での学習を着実に進めることが今後の総合的な英語の実力アップにつながり、資格取得だけではなく入試等への大きなカギとなるでしょう。

そのためには、独学だけでは言語を確実に習得することは難しくなると思われます。なぜなら単語力をアップさせることだけに集中し、偏った学習をしてしまう可能性が高いからです。特に、「書く」、「話す」技能は独学では基準に達しているのか判断できないことが多いので、中途半端な学習になりがちです。英検取得を進めながら、小中学生のうちに英語の基礎を確実に固める学習をお勧めします。

★兄弟姉妹・友達紹介キャンペーン実施中★

1人紹介で最大4,000円分のクオカードをプレゼント！詳細は、同封のチラシをご覧ください。